

第 59 卷 第 4 号

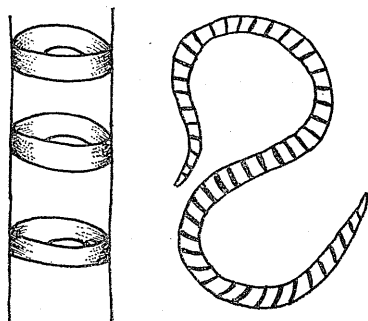
(通卷第 674 号)

Vol. 59 No. 4

# 植 物 研 究 雜 誌

## THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

昭和 59 年 4 月 April 1984



津 村 研 究 所

Tsumura Laboratory

TOKYO

昭和五十九年四月十五日印刷  
昭和五十九年四月二十日発行  
昭和五十九年四月二十日発行  
第三種郵便物認可  
(毎月二十日発行)

目 次

出口博則：イクビゴケ科蘚類の1新種ミギワイクビゴケ…………… 97  
 大場秀章：サクライソウ（ユリ科）の所属…………… 106  
 浜田信夫：2種の地衣成分エベルン酸とオブツザート酸の地衣体中での分布パターン…………… 111  
 佐藤嘉彦・有馬武裕：ヤブランの胞子および配偶体の形成…………… 116  
 雑 録  
 原 寛：植物命名国際規約57条3項による学名の変更……103——志村義雄：ホンダの新品種……105——秋山 忍・大場秀章：ケハギの白花型ユキハギ……128

Contents

Hironori DEGUCHI: *Diphyscium unipapillosum*, sp. nov. (Diphysciaceae, Musci) from Japan …………… 97  
 Hideaki OHBA: A review of *Petrosavia* (Liliaceae), with special reference to the floral features …………… 106  
 Nobuo HAMADA: Distribution pattern of two lichen substances, evernic and obtusatic acids, in the thallus of *Ramalina* …………… 111  
 Yoshihiko SATO & Takehiro ARIMA: Development of spore and gametophyte in *Liriope platyphylla* Wang et Tang …………… 116  
 Miscellaneous  
 Hiroshi HARA: Some new combinations of the Asiatic plants on Art. 57. 3 ……103——Yoshio SHIMURA: A new form of *Cyclosorus acuminatus*…105——Shinobu AKIYAMA & Hideaki OHBA: A white-flowered form of *Lespedeza patens* Nakai…128

[表紙カットの説明] 苔類 *Plagiochila propinqua* S. Lac. の弾糸。リング状の肥厚が形成される弾糸は苔類の中では極めてまれで、数例が知られているにすぎない。  
 (井上 浩)

[Explanation of the cut on the cover] Elater (right) and part of elater (left) of *Plagiochila propinqua* S. Lac. Typically the elater of hepatics is thin-walled cylinder with secondary development of spiral bands, and the elater with ring-like bands is extremely rare.  
 (Hiroshi Inoue)

## 投稿規程

1. 論文の投稿者は原則として本誌1年以上の購読者であること。
2. 文章は簡潔に書くこと。
3. 論文の脚注に著者の勤務先（勤務されていない場合は住所）とその欧文訳を付記すること。また、継続論文は脚注に前報掲載の誌名、巻数、頁、年号を入れること。
4. 本論文と雑録の著者名にはローマ字綴りを、題名は欧和両文で付けること。
5. 和文原稿は平がな交じり、横書のこと。植物和名には片かなを用い、なるべく400字詰の原稿用紙を用いること。欧文原稿は“一行あき”にタイプすること。
6. 和文の本論文には欧文の、欧文のそれには和文の簡単な摘要をつけること。
7. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼り込むこと。原図の説明文は2部を作製し、1部はたやすく剝がすことができるように貼っておくこと。図は刷上りで頁幅か又は図の側方に10字以上のあきが必要である。
8. アート紙使用のプレートについては実費を著者で負担のこと。
9. 登載する順序や体裁は編集部にお任せのこと。活字の指定は編集部ですが、特に希望される個所があれば鉛筆で記入のこと。
10. 投稿者は必要とする別刷数（50の倍数）を原稿に明記すること。本論文に限りそのうち50部は無料、それ以上は著者負担のこと。
  - a. 希望される別刷の部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けない。
  - b. 雑録の別刷は1頁以上のもので実費を著者が負担する場合に限って作成する。
  - c. 著者の負担する別刷の代金は印刷所から直接に請求するので印刷所へ御送金のこと。御送金の後に別刷を郵送する。
11. 送稿の際には住所と郵便番号とを明記すること。
12. 送稿や編集に関係した通信は 〒201 東京都狛江市和泉本町1丁目9番地9号 津村研究所, 岡田 稔あてのこと。

## 編集員

### Members of Editorial Board

原 寛 (Hiroshi HARA)

編集員代表 (Editor in chief)

千原光雄 (Mitsuo CHIHARA)	井上浩 (Hiroshi INOUE)
伊藤洋 (Hiroshi ITO)	金井弘夫 (Hiroo KANAI)
木村陽二郎 (Yojiro KIMURA)	木村雄四郎 (Yushiro KIMURA)
小林義雄 (Yosio KOBAYASI)	黒川遼 (Syo KUROKAWA)
前川文夫 (Fumio MAEKAWA)	三浦宏一郎 (Koichiro MIURA)
大橋広好 (Hiroyoshi OHASHI)	岡田稔 (Minoru OKADA)
津山尚 (Takasi TUYAMA)	山崎敬 (Takasi YAMAZAKI)

### 代金払込

- 1) 本誌代価普通号1部 550円, 増大号は別に定めます。
- 2) 1ヶ年分 6,000円 (送料別)。
- 3) 代金払込は, 〒201 東京都狛江市和泉本町1丁目9番地9号 津村研究所 (振替 東京 8-1680) あてにお送り下さい。

Overseas annual subscription rates: 8,500 yen including postage.  
Payment in Japanese currency only.

All communications to be addressed to the Editor  
**Minoru Okada**

Tsumura Laboratory, 1-9-9, Izumihoncho, Komae-shi, Tokyo, 201 Japan

昭和59年4月15日印刷  
昭和59年4月20日発行

編集兼発行 岡 田 稔

印刷者 富 田 潔  
〒176 東京都練馬区豊玉北2の13

印刷所 学術図書印刷株式会社  
〒176 東京都練馬区豊玉北2の13  
電話 (991) 3754番

発行所 津 村 研 究 所  
〒201 東京都狛江市和泉本町1丁目9番地9号  
(振替 東京 8-1680)  
電 話 (489) 4158番

定 価 550 円

不 許 複 製